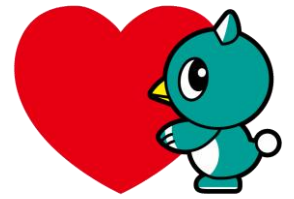


令和4年度 八千代市いのち支えるまちづくりプランの取り組み

(令和5年3月末現在)

「誰も自殺に追い込まれることのないまちづくり」の実現をめざして

八千代市では、平成31年1月に策定した「八千代市いのち支えるまちづくりプラン（自殺対策計画）」に基づき、社会的孤立や生活苦等の「生きることの阻害要因」を減らし、自己肯定感や信頼できる人間関係等の「生きることの促進要因」を増やす取り組みを進めてまいりましたが、令和4年度に国から新たに示された「自殺総合対策大綱」や、「地域自殺実態プロファイル」などのデータを踏まえ、現行プランの評価と次期プランの策定を行いました。

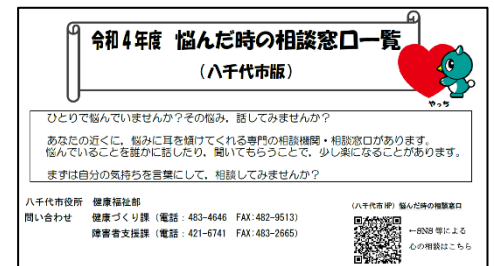


【令和4年度の実績】

1. 八千代市ホームページ、情報メール、リーフレットなどを活用した情報発信

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、不安やストレスによるメンタルヘルスの悪化が懸念されていることから、電話での相談窓口に加えて、若者も利用しやすい、SNS（LINE、チャット、ツイッター等）の相談窓口を市ホームページや情報メール等にて、紹介しました。

市HPにて、SNS・電話等による相談窓口を紹介しました →



また、こころの健康づくりに関する啓発や、自殺予防に係る「悩んだ時の相談窓口一覧」を作成し、市ホームページや各種相談窓口での周知のほか、地域の身近な相談役である民生委員・児童委員、社会福祉協議会・支会などへ配布しました。

2. オンラインを活用したゲートキーパー養成講座の開催

コロナ禍の今だからこそ、悩みを抱えている人に「気づき」「声をかけ」「話をきいて」「必要な支援につなげ・見守る」ことができる“ゲートキーパー”を地域に増やす取り組みが重要と考え、感染対策に配慮し、より多くの方に受講していただくため、オンラインにて養成講座を開催しました。

講師：NPO法人 メンタルレスキュー協会 メンタルレスキューインストラクター ^{やまぎわ}山際 ^{よういち}洋一氏

	動画配信期間	対象	修了者数
1	① 令和4年11月15日～11月30日	八千代市社会福祉協議会 支会福祉委員・登録ボランティア等	① 7名
	② 令和5年2月1日～2月28日		② 5名
2	令和5年2月1日～2月22日	八千代市職員	114名

3. 自殺対策講演会のオンライン開催

国が令和4年度に示した自殺総合対策大綱において、「国民の約3人に1人以上がゲートキーパーについて知っている」ことを目指していることから、本市もゲートキーパーの役割や必要性を市民に広く周知するため、令和5年3月の自殺対策強化月間に合わせて、講演会をオンラインにて開催しました。講演会は、市ホームページ上で講演動画を配信し、ちば電子申請にてアンケートを行いました。

テーマ：「身近な人に寄り添うとは～悩みの相談を受けた時にできること～」

講師：聖マリアンナ医科大学神経精神科 臨床心理士・公認心理師 田口 学氏

動画配信期間：令和5年3月1日～3月31日（自殺対策強化月間中の公開）

その他、児童生徒のSOSの出し方に関する教育、生きることへの促進要因への支援として相談支援体制の充実、遺された人への相談窓口の情報提供を実施しました。